

事業名：野島の魅力発見プロジェクト

活動地域：防府市野島地域

山口県立大学国際文化学部文化創造学科学生（倉田准教授）

活動の目的	「のしまップ」で島の魅力を発信！
活動地域	防府市野島地域
活動期間	令和元年7月28日（日）～令和2年2月14日（金）
活動内容	野島ファンが増えるように、学生目線で野島の地域資源を調べ、Webマップを活用してインターネットなどで情報発信するため、学生25名が、授業の一環であるフィールドワーク活動として、野島を訪問し、「景観・風景」、「ねこ」、「いろいろ」の3つの班に別れ、大学生ならではの視点から島内のいいところを撮影し、Webマップ「のしまップ」を作成した。また、島民へ活動成果を報告し意見を聞くとともに、試行的に「のしまップ」をインターネットで情報発信した。

活動状況①

7月28日、8月9日の両日、フィールドワーク調査として「景観・風景」「ねこ」「いろいろ」の3班に分かれ、島内を巡り、野島のいいところを探し、撮影しました。

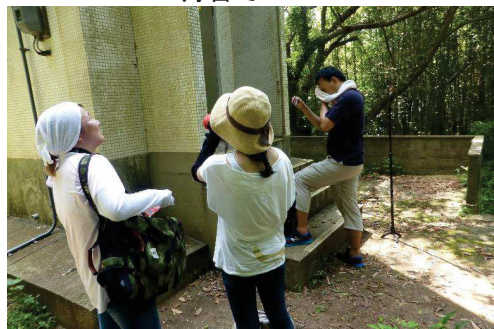
古民家の説明



猫と遭遇



灯台で



参加学生



活動状況②

9月29日、野島漁村センターにおいて、フィールドワーク調査での写真をもとに作成したWebマップ(「のしマップ」)等の活動成果を島民に報告しました。

各班の発表の様子



活動状況③

9月29日 成果報告会

島民への活動紹介の様子



「のしまっぷ」で島の魅力を発信

現在野島では、地域資源の活用や地域間交流が進まないことが課題となっています。資源みがきプロジェクトは、野島の地域資源や魅力を引き出して島外との交流を活発化させることを目的に、山口県、防府市、山口県立大学が協力して取り組んでいるプロジェクトです。今回は地域資源を発掘しその魅力を発信する活動を行いました。



のしまっぷ～「景観・風景班」

景観・風景班は野島の美しい景色を撮影しました。島に馴染みのない大学生だからこそ気づけるような視点で島を巡りました。(作品抜粋)



茜島ふるさと資料館

野島小中学校の中にある茜島ふるさと資料館では、古くから島に残っている貴重な資料が保存してあります。また、野島が「茜島」と呼ばれている理由など、島に関する豆知識がたくさん載った冊子もありました。

津久美浜

津久美浜は小石が敷き詰められた海岸で、雄大な景色を楽しめます。近くにはキャンプ場もあるので、美しい自然を満喫しながらいろいろな楽しみ方ができそうです。



のしまっぷ～「ねこ班」

ねこ班は、野島で生活しているたくさんの猫を撮影しました。学生は人懐っこい猫たちとのふれあいを楽しみました。(作品抜粋)



好奇心は旺盛

好奇心は旺盛な方です。物怖じすることなく、寄ってきます。非常に人馴れしており、撫でられるのは慣れっこな様子。島民の方とにゃんことの良い関係がうかがえますね。



猫の親子

お母さんが大好きなのは猫たちも一緒。お母さんにぺろぺろされるのが1番なのです。おっとこちらに気づいてしまったようです。珍しいカメラに興味津々！好奇心旺盛なのも一緒みたい。ずっとカメラから目を話しませんでた。



のしまっぷ～「いろいろ班」

いろいろ班は主に灯台周辺や防波堤付近を散策し、各自が気になったポイントを撮影しました。(作品抜粋)



漁船

野島を散策していると、多くの漁船があった。この日は漁にでる人と遭遇することはできなかったが、野島周辺に浮かんでいる浮きは全て漁師が仕掛けたものだと釣り人に教えてもらった。



運動会のプログラム表

ZARDの「負けないで」を曲目としたダンス競技や、当時アニメ放送されていた「SLAM DUNK」を想起させる競技「これでわたしが流川君」などから当時の流行が窺える。

